

ブリキ機械玩具の黄金期、1955～1959(昭和30～34)年には、アメリカ風のポップな色彩が施され動きがより自由に。



## ふり旅

# 懐かしのコレクションに出会う

日本三大名湯に数えられる温泉街で、ブリキのおもちゃや古い切手など、思わずノスタルジーに浸ってしまおう。懐かしいコレクションに出会いましょう。



1.各フロアでは1日3回、スタッフが歴史や遊び方を教えてくれる「おもちゃガイド」を開催。「オートマタ」(写真)のある4階は11:00～、14:00～、16:00～  
2.終戦の年から再び製造が始まった、1954年までのブリキのおもちゃ。  
3.4階には多彩なからくり仕掛けのオートマタ作品を。4.古城や、アナログ式の鉄道模型を配し、ドイツの古い街並みをイメージしたジオラマも展示。

## 温泉情緒あふれる街を散策

有馬ソサエティは本館・新館とも有馬温泉駅から歩いて約15分。途中、石畳の細い路地やならかに続く坂沿いに、昆布やせんべい店などのノスタルジックな商店が並び、少し散策するだけで温泉情緒を味わえます。

## 童心に帰ってしまう 懐かしいおもちゃたち

ノスタルジックなのは街並みだけにあらず。例えばこちら、有馬玩具博物館はその名の通り、子供のころにみんなが夢中になった、多彩なおもちゃが展示される博物館です。

ドイツの伝統的なおもちゃから日本の懐かしいモノまで、その数は約4000点に及びます。1950年代まで日本でも盛んに製造されていたブリキのおもちゃが見られるのは館内の3階。ロボットやバイクに宇宙船など、昭和時代に生産されたカラフルなブリキ玩具がズラリと並んでお出迎え。

同じ3階には、見ているだけで童心がよみがえる鉄道模型、4階には「オートマタ」と呼ばれるからくり仕掛けのユニークな玩具も多数。さらに一部のおもちゃは実際に遊ぶこともでき、スタッフによるおもちゃの歴史解説や実演(1日3回)が行われる「おもちゃガイド」も開催され、おもちゃと言えど大人でも十分に楽しめる懐の広さです。



## 有馬玩具博物館

☎ 078-903-6971  
住 兵庫県神戸市北区有馬町797  
営 9:30～18:00  
(最終入館17:30)  
休 不定休  
¥ 大人(中学生以上)800円、  
子ども(3歳～小学生)500円  
交 有馬ソサエティから徒歩10分



お土産が買えるショップは1階に。右:やじろべえ ピエロ 4,752円、左:ミニチュアオートマタ エルビス1万6,200円





江戸時代に建てられた商家の土蔵を移築した趣きのある有馬切手文化博物館は、日本でも珍しい本格的な切手の常設博物館。日本での郵便創業時に発行され、現在では貴重なコレクションとなった手彫りの「龍文切手」をはじめ、過去140年の間に発行された多彩な切手が展示されています。さらに、郵便配達夫が使っていた肩掛け箱をはじめとした品々が、郵便文化の長い歴史を物語ります。

ひとつひとつじっくりと、自分が子どもの頃に見かけたデザインを探してみるのもよし。昔探し求めたあの一枚に出会えるかも知れない、140年の歴史を味わいましょう。

貴重な切手コレクションからあの頃の1枚を探して

5.西オーストラリアから英国ヨークシャに郵送された「約100年前の貝ハガキ」。6.声をかければスタッフが案内してくれることも。7.第2展示室では、過去から現在まで常時約1000種以上の切手を展示。8.1871(明治4)年、日本で最初に発行された切手「龍文切手」。9.1948(昭和23)年に発行されたこちらは、菱川師宣の浮世絵「見返り美人」の切手。現在でもコレクターに人気の一枚。



全国から集めた使用済み切手100枚のセット(左:500円)や、キーホルダー(右:各300円)も

## 有馬切手文化博物館

☎078-904-0024  
 住 兵庫県神戸市北区有馬町663-3  
 営 10:00~16:00(最終入館15:30)  
 休 火曜日(祝日の場合は翌日)  
 ￥ 大人500円、中高生200円、小学生以下無料  
 ☒ 有馬ソサエティから徒歩7分



靴を脱いで上がると高い吹抜けに。中は一部に300年前の古木が使われムード満点です。